

- 問1 1543年の鉄砲伝来や1549年のキリスト教伝来を契機に、日本はヨーロッパ諸国との南蛮貿易を本格化させました。この貿易に関する当時の状況を説明した文として、正しいものを選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本は独自の技術で作られた陶磁器を輸出し、その代金として大量の銀を海外から輸入した | 2. 日本は国内で増産された銀を輸出することで、軍事力を高めるための鉄砲や火薬を手に入れた | 3. 日本は東南アジア産の香辛料を仲介貿易によって輸出し、ヨーロッパから生糸を輸入した | 4. 日本はキリスト教の布教を認める条件として、ヨーロッパへ金や茶を無償で提供した |
|--|---|---|---|
- 問2 豊臣秀吉が天皇の代理人である関白の地位に就いた際、全国の大名に対して領土紛争などの「私戦（大名同士の勝手な戦い）」を禁じ、和平を命じた法令を何といいますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|--------|
| 1. 分国法 | 2. 総無事令 | 3. 武家諸法度 | 4. 刀狩令 |
|--------|---------|----------|--------|
- 問3 安土桃山時代の文化を示す「南蛮屏風」には、巨大な外国船が港に到着し、洋服を身にまとった人々が日本の商人と交易を行う華やかな様子が描かれています。この時期に行われたポルトガルやスペインとの貿易に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。 | 2. 日本は生糸を主な輸出製品として、ヨーロッパの国々から金や銀などの貴金属を輸入した。 | 3. 日本は茶や陶磁器を輸出し、ヨーロッパからガラス製品やキリスト教の聖具を輸入した。 | 4. 日本は鉄砲や火薬の製造技術を海外へ輸出し、見返りとして大量の銀を輸入した。 |
|--|--|---|--|
- 問4 安土桃山時代から江戸時代初期にかけてのキリスト教の動向について、1587年のバテレン追放令発令時（信者数約20万人）と、1601年の状況（信者数約30万人）を比較した記述として正しいものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. バテレン追放令と同時に貿易も全面的に禁止されたため、キリスト教の影響力は消滅した | 2. バテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた | 3. 豊臣秀吉による厳しい弾圧が即座に効果を発揮し、16世紀末には信者数は激減した | 4. 1601年の時点では、徳川家康による鎖国令が全国に徹底されていたため信者数は減少した |
|---|---|---|---|
- 問5 織田信長が楽市楽座を断行した背景として、最もふさわしい理由はどれですか。当時の経済状況や、信長が目指した国家運営の仕組みに触れながら考えなさい。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 農民を商人として活用し、農閑期に商売を行わせることで、領民全体の収入を増やして一揆を防止するため。 | 2. 商人に武器の製造を依頼し、それを独占的に買い取ることで、他の戦国大名に対して軍事的な優位性を保つため。 | 3. 仏教勢力などの宗教団体が持つ特権を保護し、宗教的な権威を利用して領国内の平穏を保とうとしたため。 | 4. 特定の商人が富を独占することを防ぎ、市場を活性化させることで、自身の軍事力や政治力の基盤となる豊かな城下町を築くため。 |
|--|--|---|--|
- 問6 15世紀末、ポルトガルの支援を受けてアフリカ大陸南端の喜望峰を回り、1498年にインド西海岸のカリカットへ到達して、東洋への海上航路を確立した人物は誰ですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|------------------|------------------|-------------|
| 1. アメリゴ・ヴェスプッチ | 2. クリストファー・コロンブス | 3. フェルディナンド・マゼラン | 4. バスコ・ダ・ガマ |
|----------------|------------------|------------------|-------------|
- 問7 安土桃山時代の歴史について記された年表において、織田信長が各地で行った「関所の廃止」という政策が見られます。この政策の主な目的として、当時の社会状況を踏まえた最も適切な説明を選んでください。 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. キリスト教が日本国内に広がるのを防ぎ、幕府の権威を高めるため | 2. 朝鮮通信使の移動を円滑にし、外交関係を改善するための道を整備するため | 3. 商工業者の自由な経済活動を促進し、物資の流通を円滑にするため | 4. 百姓による一揆などの抵抗を防ぐために、武器の所持を制限するため |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問8 安土城を拠点に天下統一を推し進めた人物は、経済を活性化させるために、商人の座による独占権を廃止し、市場での税を免除するなどの政策を行いました。この政策を何と呼びますか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|-------|
| 1. 公地公民 | 2. 楽市・楽座 | 3. 太閤検地 | 4. 刀狩 |
|---------|----------|---------|-------|
- 問9 16世紀後半、九州のキリシタン大名である大友宗麟、有馬晴信、大村純忠の3名が、ローマ教皇のもとへ派遣した、4人の少年を中心とする使節団の名称を何といいますか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 岩倉使節団 | 2. 慶長遣欧使節 | 3. 朝鮮通信使 | 4. 天正遣欧使節 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問10 織田信長や豊臣秀吉が活躍した時代の文化において、城郭の内部を飾る「障壁画」が金箔を多用し、豪華で力強い表現となった背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 公家たちが政治の主導権を握り、伝統的な平安時代の様式を復興させたため | 2. 仏教の教えに基づき、死後の世界である極楽浄土を再現しようとしたため | 3. 海外との交流が制限されたことで、日本独自の質素な美しさを追求したため | 4. 大名が自らの絶大な権力や富を、訪れる者に対して誇示しようとしたため |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 安土桃山時代の文化において、堺の商人出身であり、織田信長や豊臣秀吉に仕えて「わび茶」の作法を完成させた人物は誰か。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|-------|
| 1. 狩野永徳 | 2. 千利休 | 3. 雪舟 | 4. 阿国 |
|---------|--------|-------|-------|
- 問12 15世紀、ヨーロッパ諸国が危険を冒して海上に新たな航路を求めた背景には、従来のアジアとの交易ルートが特定の勢力によって支配されたことが深く関わっています。当時、アジアとヨーロッパを結ぶ陸上の交易ルートを支配し、ヨーロッパ諸国が新航路を開拓する直接の原因となったイスラム教国家の名称を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|----------|
| 1. オスマン帝国 | 2. モンゴル帝国 | 3. ティムール帝国 | 4. ムガル帝国 |
|-----------|-----------|------------|----------|
- 問13 豊臣秀吉が亡くなった後の政権争いにおいて、徳川家康を中心とする東軍と石田三成を中心とする西軍が、1600年に美濃国（現在の岐阜県）で行った戦いの名称を答えなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------|
| 1. 山城国一揆 | 2. 関ヶ原の戦い | 3. 島原・天草一揆 | 4. 保元の乱 |
|----------|-----------|------------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本は国内で増産された銀を輸出することで、軍事力を高めるための鉄砲や火薬を手に入れた	戦国時代の日本では、灰吹法という精錬技術の導入により銀の生産量が飛躍的に向上しました。南蛮貿易では、この銀を主な輸出物（支払い手段）として、戦国大名たちが欲した鉄砲や火薬、さらに高級品である中国産の生糸などが輸入されました。当時、銀は日本から「流出」する側の品目であり、海外から輸入していたわけではありません。
問2	答え 2 総無事令	秀吉は、朝廷から任じられた関白という最高の地位を政治的に利用し、自分には日本全国の平和を維持する権限があることを示しました。これによって、命令に従わず戦いを続ける大名を「天皇に逆らう賊軍」として討伐する正当性を得て、天下統一を加速させました。
問3	答え 1 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。	南蛮貿易は、戦国大名が軍事力を強化するために必要な鉄砲や火薬、あるいは高級品である生糸などを手に入れる重要な手段でした。日本はこれらの輸入品に対し、世界有数の産出量を誇っていた銀で支払いました。屏風に描かれた光景は、こうした物資の往来とともに、カトリックの宣教師らによってキリスト教や西洋文化が日本に流入した背景を示しています。
問4	答え 2 パテレン追放令が出された後も、日本国内のキリシタンの数は継続して増加していた	統計資料によれば、1587年のパテレン追放令から1601年にかけて、国内のキリシタンの数は約10万人増加しています。これは、追放令が貿易利益との兼ね合いで不徹底な運用に留まったことや、九州地方などを中心に信仰が深く根付いていたことが要因です。信者の減少や組織的な潜伏が本格化するのとは、江戸幕府による禁教令や鎖国体制の整備が進んでからのことです。
問5	答え 4 特定の商人が富を独占することを防ぎ、市場を活性化させることで、自身の軍事力や政治力の基盤となる豊かな城下町を築くため。	信長は、中世的な特権やしがらみ（座など）を排除し、実力のある者が自由に活動できる環境を整えることで、富を自身の城下町に集中させようとしていました。経済的な繁栄は、強力な軍隊を維持するための財政基盤となり、天下統一に向けた大きな原動力となりました。
問6	答え 4 バスコ・ダ・ガマ	1498年にポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸南端の喜望峰を経由してインドに到達しました。これにより、イスラム勢力や地中海の商人を通さず、ヨーロッパがインドと直接交易を行う道が開かれました。コロンブスはスペインの支援で西へ向かいカリブ海へ、マゼランの船団は世界周航を成し遂げたことで知られています。
問7	答え 3 商工業者の自由な経済活動を促進し、物資の流通を円滑にするため	織田信長は、それまで公家や寺社が通行料を取るために設置していた関所を廃止しました。これにより、人や物の移動が自由になり、自身の城下町を中心とした経済の活性化と、戦いに必要な物資の調達を容易にすることを目指しました。また、この政策は「楽市・楽座」などとともに、新興の商工業者を保護・統制する狙いもありました。
問8	答え 2 楽市・楽座	織田信長が行った楽市・楽座は、寺社や公家に保護されていた「座」の特権を排除し、誰もが自由に商売を行えるようにした政策です。これにより城下町に多くの商人を集め、流通を活発にすることで、自身の経済力を強化する狙いがありました。
問9	答え 4 天正遣欧使節	宣教師ヴァリニャーノの勧めにより、九州のキリシタン大名たちは伊東マンショら4人の少年をローマへ派遣しました。この使節団は、キリスト教の本山であるローマ教皇に謁見して日本の布教状況を報告するとともに、西洋の高度な文化や技術を日本に持ち帰る役割を果たしました。なお、後に伊達政宗が派遣したものは慶長遣欧使節と呼ばれます。
問10	答え 4 大名が自らの絶大な権力や富を、訪れる者に対して誇示しようとしたため	安土桃山時代の桃山文化は、天下統一を目指す武将（大名）や、経済力をつけた豪商の富を背景に発展しました。特に城郭建築においては、主君の圧倒的な威厳を示すために、広大な空間を金箔や鮮やかな色彩で彩る豪華絢爛な障壁画が求められました。これは、中世の寺院中心の文化から、現世の権力を重視する文化への転換を象徴しています。
問11	答え 2 千利休	堺の有力な商人であったこの人物は、茶の湯に精神的な深みを持たせた「わび茶」を大成させました。時の権力者である豊臣秀吉の側近としても活躍し、文化面だけでなく政治の世界でも大きな影響力を持っていたことが特徴です。
問12	答え 1 オスマン帝国	1453年にビザンツ帝国を滅ぼしたオスマン帝国が地中海東部の制海権や陸上の交易ルートを掌握したことで、ヨーロッパ諸国はアジアの香辛料などを入手する際、多額の関税や中間手数料を支払う必要が生じました。これに対抗し、オスマン帝国を介さずにアジアと直接取引を行うためのルートを求めたことが、大航海時代の幕開けにつながりました。
問13	答え 2 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉の死後、五大老の筆頭であった徳川家康が勢力を強めたのに対し、豊臣氏の家臣である石田三成らが対抗したことで発生しました。歴史年表上では1600年の出来事として記され、この戦いに勝利した徳川家康が政治の実権を握り、のちの江戸幕府成立へとつながる決定的な転換点となりました。